

# ともに輝く 女と男



八甲タクシー社長  
毎日新聞専売所々長

小笠原豊重さんに、職場の様子をお聞きました。

Q 女性従業員は何人いらっしゃいますか。

A 現在2名です。昨年までは、乗務員としてもう1名いました。が、自己都合により退職しました。

Q 仕事での女性と男性の区別はありましたか。

A 乗務員の仕事は同じですが、小さい子どもさんがいるのと夜の危険性を考え、日中のみの乗務で働いてもらいました。現在、女性2名と男性2名がヘルパー2級の資格を持っていますので、これからの介護社会に対応して、大いに資格を生かしてもらおうつもりです。

Q 女性の乗務員さんがいた時の職場はいかがでしたか。

A 雰囲気明るくなり、活気がありましたね。お客様からの指名もありましたし、年配のお客様から喜ばれていましたので、やめた時は残念でした。

Q 女性に期待すること、エールをお願いします。

A 職業に男女の差はもう無くなってきているはず。女性は家庭にいるものという時代ではないので、大いに活動してほしいですね。男性のしがらみ社会を切るパワーを女性は持っていると思います。もっと元気になり、いろんな方面で活躍し、そして頑張ってください。(インタビュアー 東)

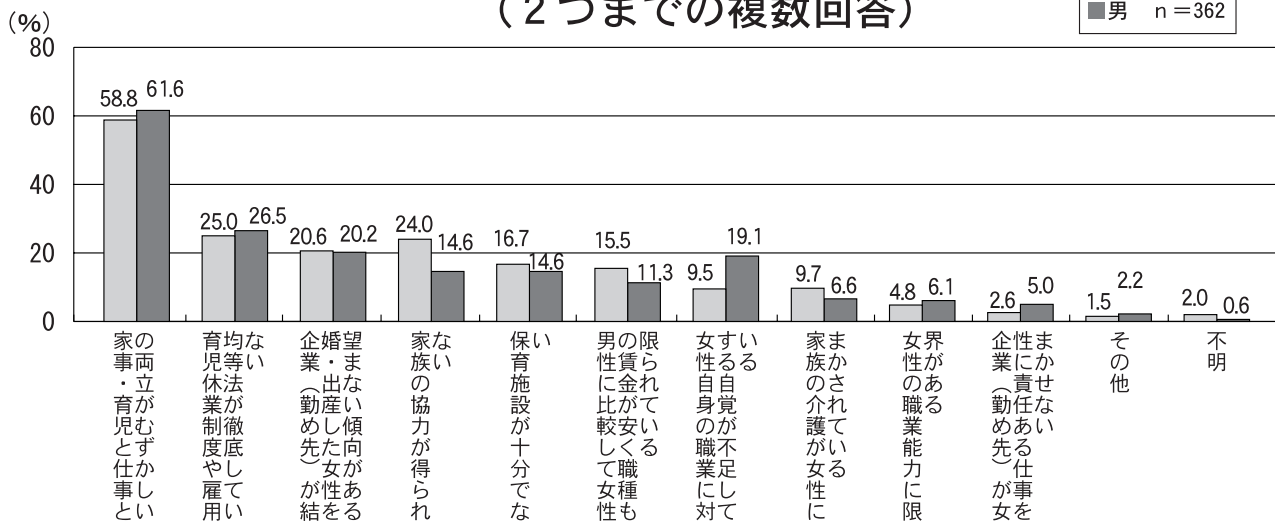
A 「君」は友だち、目下の人の名前に添えて軽い敬意を表す意味ですが、個人的にあまり好きではないので、私は、性別、年齢、勤務年数に関係なく名字で「〇〇さん」と呼んでいます。また、そう呼ぶように指導しています。

Q 女性従業員を〇〇さん、男性を〇〇君というように呼んでいる所もあるようですが、いかがですか。

## データ Data

### 女性が仕事を続けるための障害 (2つまでの複数回答)

■女 n=588  
■男 n=362



資料：「十和田市男女共同参画に関する意識調査」平成12年12月